

10月のクラスだより

令和3年9月29日
小田原市立酒匂幼稚園

さくら組

長い夏休みが明けて始まった第2学期もひと月経ちました。季節が移り変わり園内にも秋の景色が増えてきました。虫とりや草花を使った遊びで季節を感じたり、心地の良い気候の中で運動したり、秋ならではの活動も大切にしていきたいと思います。さくら組の子どもたちも、以前は自分だけで遊びを見つけて楽しんでいましたが少しずつ友達を意識して一緒にしようしたり、相手にあわせようしたりする姿が見られるようになり成長を感じます。“みんなといると楽しい”という思いをたくさん経験し、グループでの遊びもうまく進められるように場面に応じて言葉をかけていきたいと思います。



始業式の日、みんなとても落ち着いて座って式に参加することができました。先生たちもビックリ(@_@)



式後の夏祭りパーティーでは、年長さんがとてもやさしくリードしてくれました。



バッタがたくさん、ウマオイやトカゲ、トンボもたくさん見つかります。ただ…捕まえるのは意外とむずかしい!!



中当てでは年長さんが一緒に遊んでルールを教えてくださいました。繰り返し経験しながらボールの扱いもだんだん上手になると思います。

幼稚園の育てやさんではバッタやウマオイ、トカゲなどいろいろな生き物がいて、子どもたちが楽しそうに遊んでいます。虫捕りをしながらいろいろな発見をしたり変化に気付いたり、はじめは怖かった虫も友達と一緒に追いかけているうちに興味をもち触れるようになったことを喜んだりして、自然とのふれあいの中で子どもたちはたくさんのかんじを学んでいます。

自分の行動に少しずつ自信をもってきた子どもたち。それまでは大人にしてもらっていたことも自分でできるようになると喜んで取り組みます（大人がオーバーに褒めると一層頑張りますね!）できることを増やしていく喜びが感じられるように、たくさん褒めて励ましていくことを大切にしています。子どもたちが自分でできるように物の置き方を変えたり手順を丁寧に教えたりしています。



リレーの後誰にも言われなくても用具をサッと片付けていました。



紙飛行機の折り方を知っている子が手本を見せながら教えています。教えてもらった人も教えた人も満足な様子です。

遊具庫のカギを取りに職員室へ行く時に、友達が一緒にいてくれると安心して足取りが軽くなりました。



10月のさくらぐみ

- 好きな遊びの中で友達に知っていることを伝えたり助け合ったりしながら一緒に活動することを楽しむ。
- 身近な自然にふれながら季節の移り変わり

